

## 世界に輝くチュチェ思想

アフリカ・チュチェ思想研究委員会副理事長  
エジプト・チュチェ思想研究委員会委員長  
ヤヒーヤ・ザカリア・カールアラ

議長先生、

みなさん、

私はまず今から数十年前に組織されたエジプト・チュチェ思想研究委員会の心からの挨拶を送ります。委員会は社会主義と資本主義、協定と見解の間の知的闘争の最中であった去る世紀の90年代に組織されました。委員会のメンバーと研究者、社会の多くの団体が委員会に集まり、われわれはチュチェ思想を知るようになり、それを伝播しました。チュチェ思想を見習おうとする人々の数は今日、日増しに増えています。

みなさん、

哲学思想について語る時、われわれはその数が数え切れないほど多くあり、啓蒙と唯物論、不合理さ、自由主義、実存主義を主張する思想もあるということを知ります。しかし、私は人間を地球上でもっとも貴重な存在に押し立てる偉大なチュチェ思想について述べようと思います。人間が存在しないとすべての事物は価値がありません。いかに偉大であるとしてもそれが現実を取り扱わず、深度がなく所期の目的を達成できないとその思想は価値がありません。

われわれは朝鮮が日本の軍事的占領（1905－1945）下にあるとき、早くから祖国と人民のための闘争の道を踏み出した金日成主席が創始したチュチェ思想について述べようと思います。われわれはこの場でチュチェ思想が時代の切実な要求を反映して、目標を必ず成就するために創始されたことを確言します。主席は朝鮮人民を占領者から解放させて自主的で自由な人々にならしめ、国を樹立しました。人間が定着して暮らしてこそ真の国となります。人間がいなければ国もありません。

みなさん、

偉大なチュチェ思想とその目的を考察してみると、われわれはチュチェ思想が人間が世界で主人としての地位を占め、世界を改造する上で決定的役割を果たすという科学的な解明を与え、従って歴史の自主的な主体である人民大衆の運命を定式化する道を示したことを知るようになります。

チュチェ思想は長きにわたる朝鮮革命の発展とその主力軍にたいする研究過程に金日成主席が創始しました。チュチェ思想の旗のもとに朝鮮人民は植民地奴隷の運命から脱して自主、自立、自衛の社会主義国、自主独立国家の立派な主人になりました。

人間と同様、哲学思想は発展し、誰かがその思想を解釈し、立派に実現するように統制することを要求します。この時、光明星である金正日総書記（1942－2011）が登場しました。総書記はチュチェ思想を総合的に体系化し、解明を与え、チュチェ思想が朝鮮革命と世界の自主化において指導理念として光を放つようにしました。

みなさん、

私は金正日総書記がチュチェ思想を継承、発展させたということを心から闡明します。人間生活の根本原則からはじまって思想、政治、軍事、経済、文化など、社会のすべての分野にたいする具体的な指導原則にいたるまで、現在だけでなく、過去と未来にたいする諸問題を取り扱っていることによりチュチェ思想は時代の基本思想となっており、人間の運命開拓のもっとも正しい道を示し、科学的な生活観を確立させるだけでなく、革命的な政治方式を示しています。

金正日総書記の論文「チュチェ思想について」は発表されるやいなや、世界的に大きな反響を呼び起こしました。特に、世界的にこの論文を90余カ国で千万部以上を発行し、最初の発行後、一年足らずの間に140余の国々で出版しました。

世界の有名な人士たちはこの論文を指して、「1980年代の新しい共産党宣言」「今世紀に初めて人類解放の問題にたいする明確な解答を与えた初の哲学教科書」と激賞しました。

みなさん、

世界の諸国でチュチェ思想にたいする研究熱意と関心が高まり、研究者が増えています。これはチュチェ思想が重要であることを示しています。それは朝鮮のチュチェ思想が創始の経緯と目標の実現で普遍的な思想だからです。フランスのある教授は「レーニン是一時、マルクスとエンゲルスの『共産党宣言』を共産主義をたたえる歌」といいました。

彼の言葉を借りるなら、金正日総書記の論文「チュチェ思想について」は真の人間問題にたいする歌、人間の尊厳と価値にたいする歌、人間の真の理想と限りない繁栄にたいする歌であるといえます。

ブルジョア哲学を信条としていた資本主義諸国の多くの人々もチュチェ思想に魅了されてチュチェ思想の研究者となりました。

その中にはチュチェ思想国際研究所理事長であった日本人井上周八先生もいましたが、彼はチュチェ思想と朝鮮の現実を世界に広く普及しました。

一部の人々は彼が日本については意に介せず朝鮮についてのみ研究していると非難するとき、周八は彼らこそ日本について、日本の運命について考えていない、チュチェ思想がなぜ朝鮮という一つの国にのみ限られた思想なのか、たとえ朝鮮で創始されているが、チュチェ思想は誰もが見習うべき人類の思想であり、世界的な思想であるとい

いました。

チュチェ思想国際研究所理事ピエル・ブドは自分の同志たちに送る手紙で次のように書いています。

「学者として、インテリとしての良心をもって真理を探究しようとするれば、そしてもしまだ遅くないとするれば、私は私の同志たちであるあなたたちが自分たちに深く根を下ろしているアジアにたいするヨーロッパ式の高慢と偏見を捨てて朝鮮のチュチェ思想を研究することを心から頼む」

みなさん、

実際、国際社会は自主性を生命と見なし、現実で提起されるすべての問題をチュチェ思想の要求通り自力で解決していく朝鮮を驚嘆と歓喜の目で眺めました。

去る世紀の末、世界の社会主義偉業は挫折と危機を経ました。社会主義朝鮮もやはりもっとも厳しい試練を経ました。諸国における「社会主義の崩壊」を奇貨とし、敵対勢力は「社会主義の終焉」を喧伝し、社会主義の旗を変わることなく掲げて前進する朝鮮に攻撃の矛先を向けました。

朝鮮人民は社会主義を守るための類を見ない苦難の行軍時期を経なければなりませんでした。

この厳しい対決で社会主義のとりでを崩壊させようとした悪漢の企図と策動は失敗し、完全に破綻されました。金正日総書記の先軍政治（軍事を優先させる）によって朝鮮の国防力は一段と強化されました。社会主義朝鮮の安全は固く守護され、朝鮮半島と世界の平和と安全が頼もしく保証されました。

インテリによる不安と混乱が社会主義を志向していたいくつもの国々を席卷したということはよく知られた事実です。

当時、金正日総書記は精力的な知的、理論的活動によって進歩的人民の心の中に社会主義偉業の勝利にたいする信念を与えました。

総書記は「社会主義建設の歴史的教訓とわが党の総路線」「社会主義に対する誹謗は許されない」「社会主義は科学である」という多くの著作を相次いで発表し、社会主義を失くしたと考える人々と社会主義への確信をもっていない人々に灯台と羅針盤を与え、世界に蔓延していたあらゆる詭弁と不正義に決定的な打撃を与えました。

みなさん、

世紀を継いでその牽引力と生命力がさらに大きくなっているチュチェ思想にたいする世界的関心と共感はい日に高まっています。朝鮮は今、すべての分野を全般的に発展させています。世界的な危機の中で金正恩総書記は帝国主義者に甚大な打撃を与えています。総書記は朝鮮人民を育て、チュチェ思想で武装させなければならないと信じています。

今、この思想は現代により広く普及された思想として世界的に広範な範囲で研究されており、それに関する図書が発行されています。チュチェ思想研究者たちはチュチェ思想国際研究所を中心に国と大陸別のチュチェ思想研究組織の調和をなした体系の中で活動してきました。

私は金日成主席の誕生100周年を迎える2012年の太陽節（4月15日）にチュチェ思想の創始国である朝鮮民主主義人民共和国の首都平壤で盛大におこなわれたチュチェ思想世界大会に参加する幸運に恵まれました。

今年、われわれはチュチェ思想を研究し、その地位を当然の高さに引き上げようとするアイデアをもって集会を開こうと思います。チュチェ思想は世界の自主化偉業の勝利的前進とともに永遠に輝くでしょう。

みなさん、

チュチェ思想を研究しているエジプトとアラブ諸国の感謝と尊敬の挨拶を伝えます。この機会に尊敬する金正恩総書記にわれわれの心からなる連帯を表し、困難な国際的環境の中で総書記が朝鮮民主主義人民共和国のために成し遂げた業績をほめたたえます。総書記が成果を収めることを願います。頭をもたげずに、敗北を目前にしている世界の帝国主義に反対する闘争で永遠な勝利が収められることと真理が勝利することを願います。自力更生の崇高な理念を抱いて戦っている朝鮮人民に心からなる挨拶を送ります。